

科目名	子どもの体づくり				担当	堤 裕美・渡邊 真也		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1年前期	実務経験	—	
必修	卒業：必修 保育士：必修 レク：必修				ナンバリング	Y3804	DPとの関連	3
授業概要	保育士として幼児期の運動発達に応じた遊びの重要性を学び、様々な遊びの種類や方法を知るとともに、適切な環境構成や指導の援助や配慮、安全への配慮に必要な感覚や技術を習得する。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の運動発達に応じた様々な運動遊びを知り、身体的・認知的発達段階に応じてルールや環境の工夫を考えることができる</li> <li>・子どもの主体的で意欲的な活動のために必要な保育者の援助や配慮、安全への配慮などについて体感を通して理解できる</li> </ul>							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス：授業内容の確認と小さい頃に使っていた遊びを振り返る						
	2	子どもの体づくりに必要な遊び：スポーツと運動遊びの違いを理解する						
	3	子どもの動きの獲得と遊びと展開①：投げる動きに繋がる遊び						
	4	子どもの動きの獲得と遊びと展開②：色々な跳ぶ動作を用いた遊び						
	5	子どもの動きの獲得と遊びと展開③：蹴る動作を用いた遊び						
	6	ルールの理解に基づく遊びと配慮や援助①：ルールの理解が簡単な遊び						
	7	ルールの理解に基づく遊びと配慮や援助②：相手と一緒に楽しむ遊び（小集団でする楽しめる遊び）						
	8	ルールの理解に基づく遊びと配慮や援助③：集団で楽しむ遊び（鬼遊び）						
	9	ルールの理解に基づく遊びと配慮や援助④：作戦を立てたり競ったりする遊び						
	10	道具の特性を活かした遊び①：フラフープを使った様々な遊び						
	11	道具の特性を活かした遊び②：縄を使った様々な遊び						
	12	伝承遊び①：色々な伝承遊びを知るとともに技のコツを得る過程を学ぶ（竹馬他）						
	13	伝承遊び②：色々な伝承遊びを知るとともに技のコツを得る過程を学ぶ（竹馬他）						
	14	裏山での遊び：環境の特徴を活かし様々な遊びを楽しむ						
15	屋外での遊び：自然環境を活かし様々な遊びを楽しむ							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な遊びを通して、子どもの視点や保育者の視点で様々な気付き（率直な感想や危険認識など）を持ち、他者共有することで、配慮や援助の視点を広げる</li> <li>・遊びの種類は様々であり、対象者の発達段階や理解力、仲間関係などの中で適切なコミュニケーションやルールの説明、臨機応変なルール変更をすることができることがわかる</li> </ul>							
評価方法	授業態度 60%（授業準備や片づけへの関わり、出席カードへの記入） レポート 40%							
フィードバック 方法	授業内での課題は毎授業返却し、学生間の共有も図る							
アクティブ ラーニング	活動の計画、実践及び映像によるふりかえりを行う							
教科書	必要に応じて資料を授業内で配布する							
参考書	必要に応じて指示する							
履修条件	保育士として安全に留意し体を動かす事の楽しさを伝え、幼児目線で物事を考えて行動ができるようにすること							
授業外学習	事前学習：日頃から自身の身体状態を良好に保つ生活を心がけるとともに、子どもの発達段階に応じた動きについて身の周りの子どもの姿から学習すること 事後学習：授業後の感想（疲労度や楽しさ等）を仲間と共有すること							
オフィスアワー	堤：掲示板に掲示する 渡邊：学生支援課を通して対応する（授業前後の対応可能）							